

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

体罰根絶宣言の品川区で体罰が8件も 競争教育・一貫教育と無関係か？

5月13日の文教委員会で、文科省が実施した体罰実態調査の報告がありました。残念ながら、区立の4中学校で8件、教師による体罰が行われていたことが明らかになりました。一貫校では2校、しかも授業中、教師による体罰が4件です。一貫校は区教委の教育方針にまっしぐらといわれているだけにこの数字にはビックリ。

どんな理由であれ 体罰は許されない

大阪の私立高校の部活で、教員による暴力で男子生徒が自殺する痛ましい事件が発生しました。子どもの命と安全を守るべき教師がどんな理由であれ体罰をするとは許されません。

文科省は1月に小中高の教員を対象に実態調査を指示。区教委は2月～3月に全教員を対象に調査し、自己申告だけでなく、同僚の目撃や児童生徒からの申告も受けるようにしました。調査で出てきた内容を3月から4月にかけて聞き取りして今回文教委員会に報告するという経過でした。

体罰があったのは
4中学校 教師6人 8件

叩く・殴る・蹴るなどの「体罰」があったのは、中学校4校で、6人の教師、件数

は8件ということでした。小学校では0でした。ホッ。

授業中の体罰は3校、4人の教師が5件。部活動中は3校3人3件。体罰の内容は、教師が足蹴りや膝蹴り、手のひらで頬を叩き鼻血や指の骨折などです。

南が衝撃を感じたのは、ひとつの学校で複数(2人)の教師が体罰をしていたこと、教師一人で2件も体罰をしていたことなどです。これは、体罰を容認する環境があったといえないでしょうか。

品川区教委の教育方針「プラン21」は教師にもストレスをつくるのではないかと

区独自のカリキュラムをつくり、詰め込み教育をすすめている品川区。いじめ自殺が起きたり、教師の突然死やメンタル的な病気の発症など、問題が多発していることがとても気になります。

教育に携わる教師の態度は、いろいろな面で子どもたちに影響を与えます。

大勢の前で、体罰を受けるとプライドは傷つきます。そのために先生の言うことを素直に聞けなくなることもあり、教育活動に大きなマイナスになるでしょう。

自民党議員は、言うことを聞かない生徒は家庭的な問題もある場合があるとして、家庭教育の責任の問題とした発言をしました。

今、品川区は毎月第一日曜日を品川区「家庭の日」と決めて、離れている家族に電話等で連絡をして、声を聞き絆を深めることを奨励するとして『家庭の日リーフレット』作成費を予算化しました。今年度は啓発のために学校や地域に配布するとしています。

何だか、「いつか来た道」に向かっていくのではないかと心配するのは考えすぎでしょうか。

忙しくても学校の中で子どもたちのことをしっかり話し合ってほしい

いじめ問題の時も思いましたが、学校の中で教師が子どものことを話し合い、共通認識を持つようにしてほしいです。学年単位だったり、教科単位でもいいですから、できるだけ話し合うことが大事だと思います。話し合うことで自分の感じていることと違ったりえ方をしている人の話を聞けば、そこで子どもを客観的に見直せる機会になります。自分のとらえ方だけで子どもを評価すると落とし穴に入るので、絶対に避けたいですね。

原発 いらない・さよなら原発

品川パレード

5月19日(日)
午前11時半～

戸越公園に集合

パレードは12時に出発しますので、遅れないようにみんなで参加しましょう。

主催 原発 いらない・さよなら原発 品川パレード実行委員会

生活・雇用・子どもだて

教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523